

■シンポジウム「バーチャルリアリティを活用した避難実験の可能性」開催案内■

公益社団法人 日本火災学会
学術委員会 避難行動専門委員会

近年、VR（仮想現実）やAR（拡張現実）などの技術を用いた企業活動や調査研究、あるいは防災訓練のコンテンツの制作なども多く見られるようになってきた。VR技術は、火災時の状況や他の避難者の行動の影響、または避難時にハンディキャップのある人の感覚などを疑似的に体験することを可能とし、従来の避難実験では分析することが難しかった内容に研究対象を拡げられる可能性がある。そこで、本シンポジウムではこれまでに避難行動専門委員会の委員が実施したVR技術を用いた研究活動を紹介しながら、VR技術の火災避難研究における利用可能性について議論をしたい。

主題：「バーチャルリアリティを活用した避難実験の可能性」

日時：2021年7月16日（金）14:30～18:00

会場：Zoomミーティング（オンライン）※14:00から接続可能な設定にしております

主催：日本火災学会 避難行動専門委員会

共催：東京理科大学 理工学部 人間安全理工学コース

【プログラム】[時間は目安]

趣旨説明（講演司会）：水野雅之（東京理科大学）[5分程度]

講演 [各講演は質疑応答を含め30分、講演②と④の後に休憩時間を10分ずつ設けます]

①VR空間における誘導灯が指し示す方向の理解と避難経路探索実験

..... 佐野友紀（早稲田大学）

②VRによる地下街通路での火災避難時の出口選択行動の分析

..... 田中俊成・水野雅之（東京理科大学）

③全天球動画VRにおける空間の感じ方と経路選択行動の再現

..... 榎本満帆（明野設備研究所）

④VR空間における火災警報音の感じ方

..... 峯岸良和（竹中工務店）

討論・意見交換 [60分程度]

討論進行役：池島由華（大成建設）・河合邦治（日本防火技術者協会）

コメンテーター：吉岡陽介（千葉大学）

まとめ：萩原一郎（東京理科大学）

参加費：無料

配付資料：当日に発表用スライドのPDFデータを配信予定

参加方法：本会ホームページの「学術委員会」または「イベント」のページを参照

※Zoomの「ミーティング登録」により参加できます。また、登録後に参加用のアドレスが記載された確認メールが届きます。

問合せ先：公益社団法人 日本火災学会 事務局